

# がん経験者から医療従事者に伝えたいこと

## 宮崎ますみさん

女優・エッセイスト・ヒプノセラピスト

株式会社ヒプノウーマン 代表 <http://www.hypnowoman.jp>

●がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます  
●本セミナーは東北がんプロフェッショナル養成プラン「事業の1環」となっております  
●本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します

「私はパペットのように  
操られたくないの!!!」

これは自己催眠で、ガンが一番最初に乳房に定着してしまったその原点へと退行してみた時に、潜在意識からわき起こった言葉でした。宿命から逃れられない”と思い込んでいた私は、自分を苦しめている現状を打開する手立てをとらず、その問題から自らを救い出す手段として、ガンを受け入れたのかもしれない。私はガンをきっかけに、私は神様から生き直すチャンスを得たのだと感じました。

「私はパペットのように  
ないの?」と自分を責め、人を責めてしまう方がいます。病はけつして罰ではなく、Why?「なんで?」ではなく、What for?「なんのために?」と、そこに耳を傾けなければならぬと思うのです。

そして治療中の私が主治医から一番欲しかった言葉は、「大丈夫!」の一言でした。それは治ることへの保障でなくても、寄り添ってくださっていることへの安心感なのです。

リバースした宮崎が、乳がん体験から学んだこと、医療従事者の皆様にお伝えしたい事、そして病の要因を潜在意識へとアプローチしていく方法などについてもお話しさせていただきます。と思っています。

福島県立医科大学附属病院 平成23年度 第9回

## 臨床腫瘍セミナー

日時 平成24年1月17日(火) 18:00~19:00

場所 福島県立医科大学11号館(臨床講義棟)第二臨床講義室

お問い合わせ先  
福島県立医科大学附属病院  
臨床腫瘍センター  
がんプロフェッショナル養成支援室  
電話 547-1410(内線2661)  
メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ  
日時 平成24年2月21日(火) 18時~19時  
講師 当学放射線医学講座  
助手 宮崎真先生  
内容 「低線量放射能汚染と医療被爆(仮)」